

令和5年度第3回上伊那医療圏 地域医療構想調整会議	資料 1-1
令和6年3月5日	

地域医療構想における 長野県の対応方針について

地域医療構想における各医療機関の対応方針について

- 今年度末までに、一般・療養病床を持つ公立・公的・民間病院及び有床診療所において、2025年における対応方針の策定、検証・見直しが求められている。
- 昨年度実施した将来意向調査の回答内容を基に、対応方針の共通様式を作成し、各圏域の地域医療構想調整会議の場において各医療機関から説明の上、協議を行う。

■ 対応方針

- 対応方針の様式は、県から示します。
- 公立病院は、公立病院経営強化プランを対応方針として取扱います。

【対応方針(様式)の内容】

1. 自院の現状

- (1) 許可病床数(令和4年7月1日時点)
- (2) 医師・看護職員の職員数(令和4年7月1日時点)
- (3) 診療科目(令和4年7月1日時点)
- (4) 自院の特徴と課題

2. 今後の方針

- (1) 自院の今後の方針(今後の圏域における役割等)
- (2) 2025年における非稼働病棟への対応
- (3) 2025年・2030年における許可病床数の予定

■ 対応方針の取扱い

今後開催する調整会議の資料として活用し、会議後に県ホームページ上で公開します。

令和5年度 各医療機関の対応方針の説明について

【病院】

- 自院の対応方針を作成し、調整会議の場で、その内容についてご説明ください。
(調整会議に参加していない病院にも出席(対面orオンライン)及び説明をお願いします。)
- 調整会議の日程等は、保健福祉事務所よりご連絡します。

【有床診療所】

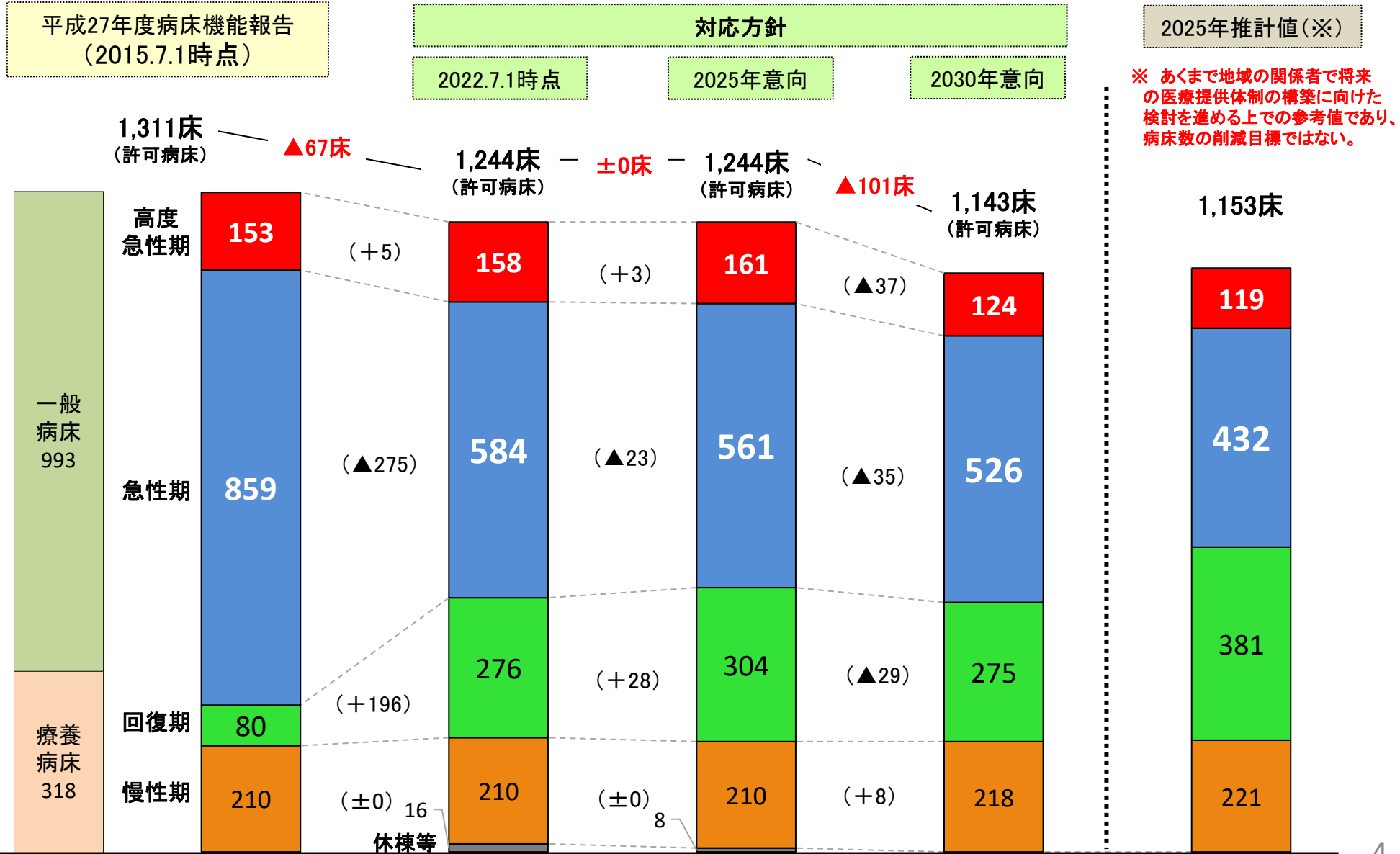
- 有床診療所の対応方針については、協議済みとなっています。
(各圏域の第1回調整会議において、県から各診療所の対応方針を説明)

【共通事項】

- 対応方針は、県が示す様式を用いて作成し、説明資料としてください。
※ 公立病院(経営強化プラン策定対象)は、経営強化プラン概要資料の使用も可能です。
- 許可病床数の増床を伴う部分については、増床計画の必要性等が整理された段階で、増床の可否も含めて、別途調整会議へ諮ることを前提とし、対応方針の協議を行うものとする。

対応方針 — 機能別病床数の意向 — (上伊那医療圏)

- 2025年の意向を集計した結果、2022年7月1日時点と比較すると、急性期から回復期への転換が進み、総病床数は変わらない見込み。
- 2030年の意向を集計した結果、2025年の意向と比較し、高度急性期・急性期・回復期が減少、慢性期が増加し、総病床数は101床減少する見込み。



対応方針 — 機能別病床数の意向 — (上伊那医療圏:医療機関別)

- 2025年までに、上伊那生協病院において休棟中の病床が急性期で再稼働され、昭和伊南総合病院において急性期から回復期へ機能転換が行われる見込み。
- 2025年から2030年までの間には、上伊那生協病院において休棟中の病床が慢性期機能で再稼働され、昭和伊南総合病院では病床削減を伴う移転建替えが行われる見込み。

【凡例】 A:2022年7月1日時点の機能別病床数 B:2025年における機能別病床数の意向 C:2030年における機能別病床数の意向

病院名	高度急性期			急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床数計											
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
伊那中央病院	116	116	116	0	0	238	238	238	0	0	36	36	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390	390	390	0	0
昭和伊南総合病院	42	45	8	3	-37	191	160	125	-31	-35	67	95	66	28	-29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	300	199	0	-101
医療法人暁会仁愛病院	0	0	0	0	0	73	73	73	0	0	0	0	0	0	0	94	94	94	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167	167	167	0	0
上伊那生協病院	0	0	0	0	0	48	56	56	8	0	56	56	56	0	0	44	44	52	0	8	16	8	0	-8	-8	0	0	0	0	0	164	164	164	0	0
町立辰野病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	100	0	0
医療法人保健同人会田中病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	72	72	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72	72	72	0	0
病院計	158	161	124	3	-37	550	527	492	-23	-35	259	287	258	28	-29	210	210	218	0	8	16	8	0	-8	-8	0	0	0	0	0	1193	1193	1092	0	-101

有床診療所名	高度急性期			急性期				回復期				慢性期				休棟				介護施設等への転換				病床数計											
	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B	A	B	C	B-A	C-B					
駒ヶ根高原レディスクリニック	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	19	0	0
菜の花マタニティクリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	17	17	0	0
斉藤診療所	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	15	0	0
有床診療所計	0	0	0	0	0	34	34	34	0	0	17	17	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51	51	51	0	0

総計	158	161	124	3	-37	584	561	526	-23	-35	276	304	275	28	-29	210	210	218	0	8	16	8	0	-8	-8	0	0	0	0	0	1244	1244	1143	0	-101
-----------	------------	------------	------------	----------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	-----------	------------	------------	------------	------------	----------	----------	-----------	----------	----------	-----------	-----------	----------	----------	----------	----------	----------	-------------	-------------	-------------	----------	-------------

対応方針 — 今後の圏域における役割の意向と具体的な今後の方針 — (上伊那医療圏)

○ 各医療機関の今後の役割の意向と具体的な今後の方針は以下のとおり。

【凡例：今後の圏域における役割の意向】

- ①：重症の救急患者への対応や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う医療機関
- ②：救急患者の初期対応や比較的軽微な患者に対する急性期医療を担う医療機関
- ③：在宅や介護施設等で急性増悪した患者（サブアキュート）や、急性期経過後に引き続き入院医療を要する患者（ポストアキュート）の受入機能を担う地域包括ケアの拠点となる医療機関
- ④：回復期リハビリテーション医療を提供する医療機関
- ⑤：長期にわたり療養が必要な患者（重度の障がい者（児）を含む）に対する入院医療を担う医療機関
- ⑥：特定の診療に特化した役割を担う医療機関（例：産婦人科、精神科等）
- ⑦：かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う医療機関

医療機関名	病診区分	今後の圏域における役割の意向(◎は主たる役割)							具体的な今後の方針
		① 高度・専門	② 軽症急性期	③ 地ケア	④ 回りハ	⑤ 長期療養	⑥ 特定診療	⑦ かかりつけ	
伊那中央病院	病院	◎	○		○				現時点では、担っている機能を継続して維持していく。
昭和伊南総合病院	病院	◎	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那医療圏・伊南地域における高度急性期・一般急性期の需要に応え、回復期までの切れ目ない医療を提供する。 ・二次救急及び一部の三次救急を担う救急医療体制を継続する。 ・地域包括ケアシステムを支え、在宅療養の支援や一時的入院の需要等に応える。 ・新興感染症の感染拡大時や災害時などの地域需要に対応する。
医療法人暁会仁愛病院	病院		○	◎		○	○		上伊那医療圏は、2025年の将来推計人口を参考に、2022年時点の病床数で1病床当たりの人口を、(日本医師会提供のJMAP医療情報システムにて)算出すると、県内に10ある医療圏の中では木曾医療圏の118人に次いで、上伊那医療圏は104.2人と2番目に多く、これに対し長野県平均は83.2人、全国平均は77.9人であった。このことから上伊那は他の医療圏と比べ病床が少なく、他の医療圏と同レベルで病床数を見直しするべきではないと考えられる。また伊那市地方創生人口ビジョンによると、伊那市は2020年から2030年の間に人口が4481人減少するも、老年人口は153人増加、更に2040年までゆるやかに増加することが見込まれている。それに伴い高齢者のみの世帯も今後増えてゆくことが予想され、在宅での医療が困難な患者の割合も増えることが考えられることから、当院としてはかかりつけ医や在宅療養支援診療所からの緊急入院の受入れの役割を担う病院として一般・療養共に現在の病床数を維持する必要があると考えている。
上伊那生協病院	病院		○	◎	○	○		○	これまでの総合診療、医療と介護との密接な連携、在宅医療のとりにくみ、リハビリテーションに力を入れつつ、かかりつけ医としての役割や在宅医療における役割を強化していきたい。
町立辰野病院	病院		○	◎				○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在力を入れている「地域包括ケア病床」を最大限活用し、医療と介護の連携を強化していきたい。 ・上伊那北部地域の医療を支える病院として貢献するとともに、引続き、軽症～中等症の入院を要する患者への救急医療やレスパイト入院等の受入にも積極的に関与していきたい。
医療法人保健同人会田中病院	病院					◎		○	長期にわたり療養が必要な患者の受け入れを継続し、今後は在宅医療にも力を入れると共に医療DXを進め、より良い医療サービスを提供できるように努力して行きたい。
駒ヶ根高原レディスクリニック	診療所						◎	○	有床の産婦人科として、地域での活動を継続するとともに、内科部門での在宅診療(訪問看護・リハビリ含め)の充実を図ってゆく。
菜の花マタニティクリニック	診療所						◎		これまで同様、地域の出産環境の提供に貢献していく。
斉藤診療所	診療所		○					◎	かかりつけ医の機能を果たし、医療・介護などの提供に可能な限り維持できるよう、今後も努めたい。

本県における今後の地域医療構想の進め方 スケジュール(案)

	令和5年度			令和6年度			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
圏域別調整会議	第1回	第2回 <small>必要に応じて開催</small>	第3回	<small>(必要に応じて開催)</small>	第1回	<small>(必要に応じて開催)</small>	第2回
	1. 各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し			2. 構想区域全体の2025年における医療提供体制の検証(圏域ごとの課題について議論) <small>※昨年度より変更</small>			
医療情勢等連絡会	必要に応じて随時開催						
県単位調整会議			第1回 <small>必要に応じて開催</small>				第1回 <small>必要に応じて開催</small>

■ 圏域別調整会議の議題(案) ※地域医療構想に関する議題のみ

【令和5年度第1回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)

【令和5年度第2回】

- 各医療機関の対応方針について(病院・有床診)

【令和5年度第3回】

- 各医療機関の対応方針について(病院)
- 構想区域全体の医療提供体制について(圏域ごとの課題設定)

【令和6年度～】

- 構想区域全体の医療提供体制の検証について等

★ スケジュール(案)の変更点等<構想区域全体の検証>

- 圏域ごとの課題を議論することを構想区域全体の検証とみなす。
- 令和5年度までとしていたものを、令和5年度から令和6年度にかけて議論を行う。